



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-53

(2025. 8. 15)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

とね かずゆき
上席主任研究員 刀禰 和之

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の貸出金利回り

ポイント

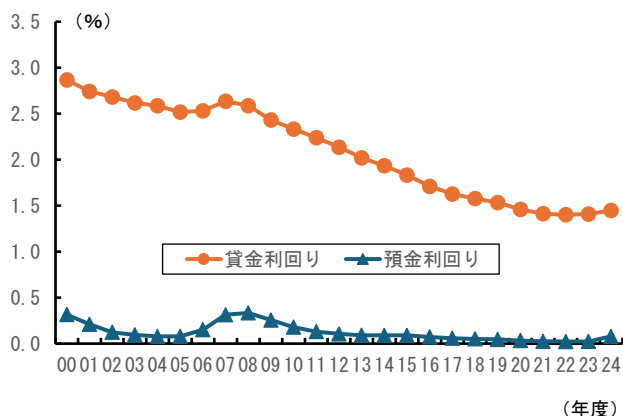
- 2024年度の信用金庫の貸出金利回りは前期比0.03ポイント上昇（改善）の1.44%となり、2年連続で前年度を上回った。
- 貸出金平残が2000年度比で22.3%増加したものの、貸出金利回りは1.41ポイントの低下となったため、貸出金利息が38.2%減少した形である。
- 2024年度の地区別の貸出金利回りは、南九州を除く10地区で前期比上昇しており、なかでも北海道、東京の上昇が目立った。
- 2024年度の信用金庫別の貸出金利回り（構成比）は、①1.5%未満が42.5%、②1.5%～2.0%が46.4%、③2.0%以上は11.0%となった。

1. 全国状況

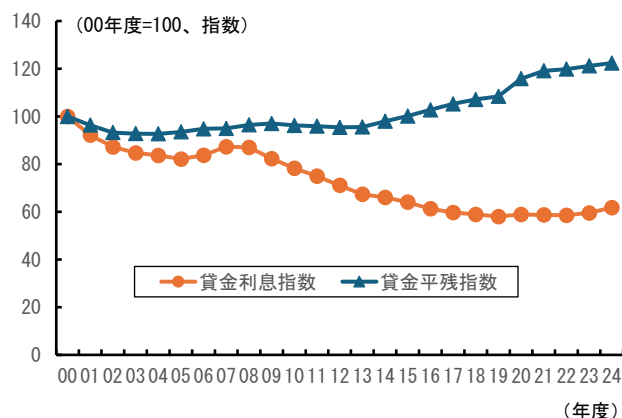
2024年度の信用金庫の貸出金利回りは、前期比0.03ポイント上昇（改善）の1.44%となり、2年連続で前年度を上回った（図表1）。信用金庫の貸出金利回りは市場金利が上昇した2007年度（2.63%）を直近のピークに低下を続けていた。ただし近年は貸出金利回り低下による利鞘縮小を改善するべく、貸出構成の見直しが活発であった。またマイナス金利政策の解除に伴う「金利のある世界」の到来もあり、信用金庫の貸出金利回りは上昇方向に転じたと考えられる。利回り上昇幅は2023年度の0.01ポイントから2024年度には0.03ポイントに拡大した。

また貸出金利息＝貸出金平残×貸出金利回りとすると、2000年度から2024年度にかけて、貸出金平残が22.3%増加したものの、貸出金利回りは1.41ポイント低下したため、貸出金利息は38.2%減少した形となる（図表2）。

(図表1) 貸出金利回り等の推移



(図表2) 貸出金利息と平残の推移



(備考) 図表1から4まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

2024 年度の地区別の貸出金利回りは、南九州（前期比 0.01 ポイント低下）を除く 10 地区で前期比上昇しており、なかでも北海道（0.05 ポイント上昇）、東京（0.05 ポイント上昇）の変化が目立った（図表 3）。地区別の貸出金利回りを比較すると、最も高い南九州で 2.08% となり、最も低い東海（1.12%）との間で格差がみられる。なお、2000 年度からの変化では、四国、東北、北陸の順に利回りの低下幅が大きくなっている。

（図表 3）地区別の貸出金利回り

(単位：％、ポイント、百億円)

地 区	00年度	10年度	20年度	23年度	24年度	00年度比 増減P	23年度比 増減P	貸出金 利 息	貸出金 平 残	預金利回
北海道	2.81	2.27	1.52	1.52	1.58	△ 1.22	0.05	55	350	0.06
東 北	3.30	2.72	1.70	1.62	1.64	△ 1.65	0.02	44	271	0.06
東 京	2.83	2.36	1.56	1.54	1.60	△ 1.23	0.05	249	1,555	0.05
関 東	2.87	2.37	1.42	1.37	1.41	△ 1.45	0.03	210	1,487	0.06
北 陸	2.85	2.37	1.29	1.23	1.26	△ 1.59	0.02	22	174	0.05
東 海	2.59	2.04	1.17	1.09	1.12	△ 1.47	0.02	184	1,648	0.08
近 畿	2.88	2.29	1.47	1.43	1.48	△ 1.40	0.04	258	1,744	0.10
中 国	3.01	2.47	1.52	1.42	1.46	△ 1.54	0.04	51	350	0.07
四 国	3.41	2.81	1.77	1.70	1.72	△ 1.68	0.01	21	125	0.09
九州北部	3.06	2.59	1.76	1.70	1.73	△ 1.33	0.03	26	150	0.06
南九州	3.57	3.02	2.19	2.09	2.08	△ 1.48	△ 0.01	35	171	0.05
全 国	2.86	2.33	1.45	1.40	1.44	△ 1.41	0.03	1,164	8,048	0.07

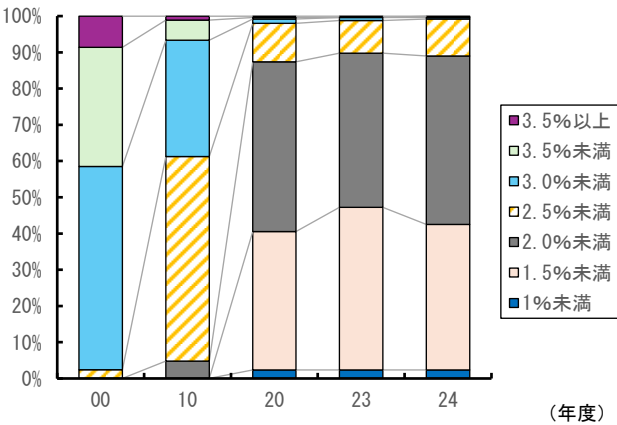
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

2024 年度の信用金庫別の信用金庫別の貸出金利回り（構成比）は、①1.5%未満が 42.5%（108 金庫）、②1.5%～2.0%が 46.4%（118 金庫）、③2.0%以上は 11.0%（28 金庫）となった（図表 4）。2024 年度の貸出金利回りは 1.44% だったが、中央値は 1.55% となる。また 2.0% 以上が 28 金庫あり、なかでも 3% 以上が 1 金庫（所在地区；近畿）あった。一方、1% 割れは 6 金庫あり、その全てが東海に所在した。

2000 年度の構成が比と比較すると、2% 未満が 0（なし）だったのに対し、2024 年度には 88.9%（226 金庫）にまで拡大している。また、3% 以上は 41.5%（154 金庫）から 0.3%（1 金庫）に低下した。

（図表 4）信用金庫別の貸出金利回り（構成比）



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。